

# 委員会報告

総務経済常任委員会「観光拠点づくり」

## 町の観光拠点として 鉢形城跡のさらなる活用を

本委員会では、観光拠点と回遊性について、足利・小田原両市の先進地視察を含む1年間の調査研究を行いました。

「歴史・文化・自然が寄居町観光のアピールポイント。鉢形城跡を拠点に回遊ルートをつくってはどうか」「鉢形城跡を中心とした拠点つ



鉢形城跡 三の丸

くりには、役場組織の総力を結集して取り組むべきである」等委員の意見があり、執行に対して次の要望を行った上で、本件に関する調査研究を終結することとしました。

### 【要務事項】

- ・鉢形城跡の観光活用を積極的かつ早急に行っていたきたい。
- ・観光拠点づくりには、鉢形城跡整備基金を大いに活用し、竹やぶの伐採による景観の魅力アップ、歴史館と二の丸、三の丸をつなぐ遊歩道・連絡橋の整備、展望台の設置、シルバー人材センター移転による跡地の有効活用や、花を前面に打ち出した集客等に取り組んでいただきたい。

各委員会ではそれぞれテーマを掲げて調査・研究に取り組んでいます。その審議内容が委員長から本会議で報告されました。(内容を抜粋してお知らせします。)

文教厚生常任委員会「町民の健康づくり対策」

## 健康づくり対策を 町の最重要課題に位置づけて

本委員会では、1年間調査研究した内容をもとに、町民の健康づくり対策について委員の意見を聞き、執行に対し次の要望を付し、本件については、今回をもって調査研究を終結することを決定しました。

### 【要務事項】

- ・町民の健康づくり対策を町の最重要課題に位置づけるとともに、対策費用を予算措置し、健康づくりにつながる仕組みづくりを進めていただきたい。
- ・参加実績をポイント化して還元することで、高齢者の生きがいづくりにもなる介護支援ボランティア事業の取り組みを積極的に推進していただきたい。
- ・町民全体で健康づくりに取り組むためには、各地区で中心となる活動する健康づくり推進員の制度立ち上げが重要になる。ま



健康づくり体操

ずモデル地区を設定し、意欲のある人を推進員に募って制度をスタートしていただきたい。各種行事に合わせた健康フェアの開催などを行うとともに、広報やホームページだけでなく、健康づくりの情報発信の拡充を図っていただきたい。

「願意は理解できるが意見書提出はどうか」等の意見があり、賛成少数で不採択

「1.5%削減の内容は」

「年金2.5%の引き下げ法案実施の中止を求める意見書」を内閣総理大臣などに提出していただきたいというもので、請願者のほか340名の署名とともに議会に提出されました。

### 付託委員会の審査結果

付託された文教厚生常任委員会では、昨年6月議会にほぼ同内容の請願が出されてい

### 本会議の審議では

本会議では、賛成少数で不採択となりました。

年金制度、包括的な将来の方向性を議論しなければならぬ

### 反対

請願者の願意は十分理解できるが、広く町民の公平性等を精査する必要がある。年金額の引き下げは、額算定の基準となる物価スライドで下げられるべきものを特例措置で下げてこなかった是正措置で、財源確保のためである。今後、年金保険料を支払い続ける世代の問題も重要なことから、年金制度すべてにおける抜本的かつ包括的な将来の方向性を論議しなければならぬと考える。

神田 崇議員

賛成  
これ以上の削減は高齢者の命綱を断ち、地域経済にも大打撃

### 賛成

「65歳以上の女性の暮らし実態アンケート」の結果が共同通信社から配信され、「年金では生活は無理と8割が回答」と伝えている。現状の中で2.5%の削減は、高齢者の命綱を断つようなものである。2.5%削減で460億円。地域経済にも大打撃を与える。正規雇用を増やしたり、企業や富裕層に応分の税金を支払ってもらい、安定した年金制度の確立をすべきである。

田母神節子議員

## 第5次 三ヶ山地域開発調査特別委員会 「三ヶ山地域の開発調査」

### 運営協定など県から 説明を受ける

5月16日に委員会を開催し、埼玉県環境部資源循環推進課から、彩の国資源循環工場第2期事業及び彩の国資源循環工場運営協定等について説明を受けました。本件については、引き続き調査研究することを決定しました。

### 【質疑・意見】

- ・遮水シートの構造と漏水検知システムの精度
- ・地元業者への発注見通しと工事受注企業の所在地
- ・遮水シートの施工範囲と漏水検知システムの設置箇所
- ・三ヶ山メガソーラー発電施設竣工式典に町内小・中・高校生が参加するが、その役割と意義について

## 組合議員から報告がありました 大里広域市町村圏組合

組合議会には、町議会から、大久保博幸・田母神節子両議員が選出されています。6月定例会では、組合の事業概要の報告がありました。

寄居町と熊谷・深谷両市で構成される大里広域市町村圏組合は、可燃物処理・不燃物処理・介護保険の3事業を実施しています。

組合の平成25年度当初予算は、一般会計が41億7362万3000円、介護保険特別会計が25億2111万7000円、合計294億9474万円です。

寄居町の負担金は、一般会計が事務費740万5000円、衛生費3億6091万2000円、介護保険特別会計が4億1552万3000円です。平成25年度事業では、「ごみ処理施設長寿命化計画」に沿って、熊谷衛生センター第2工場の基幹改良工事を平成25年、26年度の2カ年でを行います。

## エコタウン宣言

6月11日に三ヶ山メガソーラー発電施設の竣工式が行われ、式にあわせ町の「より・Eエコタウン推進のまち宣言」も発表されました。

町議会では、昨年の6月定例会で、自然エネルギー先進都市を目指して「自然エネルギー推進のまち宣言」を行うよう、町に求める決議を行いました。今回の「より・Eエコタウン推進のまち宣言」も、この決議の趣旨に沿うものです。



裏表紙もぜひご覧ください。「よりのえがお」が輝いています